

活動名	団体名 加計小夢配達人プロジェクト実行委員会
加計小夢配達人プロジェクト推進事業 巨大万華鏡づくり	地域 広島県山県郡
	代表者 会長 河野 義文
	支援金額 40万円
活動概要	
<p>「人が入れるくらいの巨大な万華鏡が作りたい」という子どもの夢を実現するための取り組みを、夢配達人プロジェクト推進事業として、学校と地域の大人達が「夢配達人」と一緒に支援し、万華鏡についての学習や手助けを進めるなかで、巨大万華鏡づくりに取り組みを行った。青少年の夢実現に向けた取り組みや目標を育む地域づくりを推進していくための良い活動の場となった。また、その成果として作成した巨大万華鏡を加計小学校内に設置して、広くみんなに科学とものづくりを体験し考える場として、楽しんでもらうことを考えている。</p>	
<p>◆実施時期：平成21年4月～平成21年10月  安芸太田町立加計小学校  (活動の中心は小学校、活動内容により安芸太田町内各会場)</p>	
<p>◆参加人数：実行委員会62名、推進会議79名、総合学習45名、  万華鏡工作教室65名、太田川の石採取18名、プレート作成28名、  万華鏡搬入10名、完成作業40名、完成発表会170名、移動6名</p>	
参加総人員 523名	



《万華鏡工作教室》



《巨大万華鏡を覗いて》



《巨大万華鏡制作発表会》



《巨大万華鏡完成》

### ◆実施に伴う効果

- ・活動を通じて、加計小学校児童、加計中学校生徒、夢配達人、地域住民他多くの方との交流を図り深めることができた。
- ・万華鏡の仕組み等を学習するための工作教室などを開催したことで、「家庭や各地域の場で活用したい」等の声を頂くなど、広くこの事業をPRすることができた。
- ・完成発表後、町外から巨大万華鏡をみにこられたり見学に来られたり、何件かの問い合わせがあった。

### ◆苦労した点

「人が入れるくらいの大きな万華鏡づくり」子どもの夢実現に向け、想像から創造へ移行するなかで、形状、大きさ、材質、駆動力、模様など、具体的な巨大万華鏡の完成イメージを共有できるまでに多くの時間を要しました、その中で特に、万華鏡の模様となる具材の選定やその具材をどのように変化させるかなど、仕組みの具現化に苦労しました。

### ◆今後の課題・発展の方向性

- ・巨大万華鏡は加計小学校内に常設ですが、今後は、在校生により、万華鏡の模様となる回転部に新たな具材の入れ替えを行うなど、科学とものづくりを体験し考える場となるよう活用します。
- ・移動可能な範囲で、学校交流事業や町内観光イベント等で活用し多くの方に、科学とものづくりを体験し考える場を提供し、広くみんなに楽しんでもらえるように巨大万華鏡を活用します。
- ・今後の課題として、巨大万華鏡はかなりの重量があり移動には4トントラック等が必要となり、移動会場に対応させた移動方法や、それに係る経費をどのようにしていくか。また、巨大万華鏡のPRや模様の変化を含め、どのように活用していくかだと思います。

### ◆活動を終えての感想・意見等

「万華鏡を作るのが上手な人に手伝ってもらって、人が入れる位の大きな万華鏡が作りたい」という6年生の夢実現に向けた活動を通じて、夢を形にすることの難しさや、試行錯誤を繰り返しながらも、夢配達人と児童・生徒・職員、その他多くの方にご協力をいただき、知恵や力を結集すれば夢は必ず実現するということを、あらためて実感することができました。また、多くのことを体験し学ばせていただきました。これも、マツダ財団からの多額の支援をいただいたからこそ実現出来たことと感謝しています。ほんとうにありがとうございました。